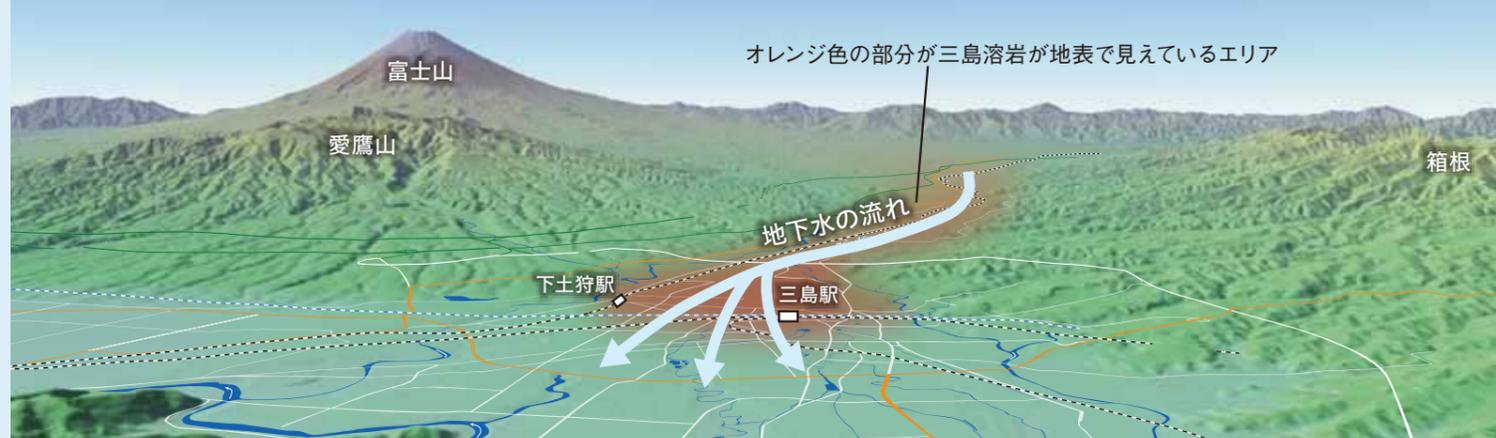


ワケあり伊豆半島⑫

# 溶岩流 from 富士山

～湧水の恵み～

名峰・富士山は約10万年前から噴火を繰り返して現在の姿となりました。なかでも、約1万年前の噴火では、「三島溶岩」と呼ばれている溶岩が約40kmも流れ下り、愛鷹山と箱根山の間の谷を埋め尽くし、長泉町、清水町、三島市までたどり着きました。この地域の大地をつくり出した溶岩流の末端では、**独特の地形が見られるだけでなく、溶岩のすき間を流れてきた富士山の雨水、雪解け水が**こんこんと湧き出しており、市民や観光客に憩いの場を提供しています。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第462号) 鳥瞰図の描画には「カシミール3D」を使用した。

## ① 楽寿園

1900年に小松宮彰仁親王の別邸として建てられ、1952年に一般公開された市立公園。三島溶岩流がつくった台地や湧水を巧みに利用した自然あふれる公園となっています。湧水を貯めた小浜池や、三島溶岩の表面にできた独特の「縄状溶岩」や「溶岩塚」などを見ることができます。新幹線の駅のすぐ近くでパワフルな火山活動の痕跡を体感できる貴重な場所といえます。



## ② 源兵衛川

楽寿園の小浜池の湧水を源流として、流域の灌漑用に開削された用水。冷たい湧水は1.5km下流の温水池で適温まで温められてから田んぼに配水されています。湧水を上手に使ってきた先人の技術にも思いをはせてみては。



## ⑤ 柿田川

清水町の中心部を南北に流れる全長1.2kmの日本で最も短い一級河川。富士山周辺で降った雨水や雪解け水が数十年かけて三島溶岩のすき間を通り抜けて湧き出したものです。湧水は一日約100万トンもあり、環境省の「名水百選」に認定されています。水温は年間を通して15度と安定していて、清らかな水の中には可憐な水中花・ミシマバイカモが咲いています。



## ⑦ 鮎壺の滝

黄瀬川にかかる別名「富士見の滝」。三島溶岩の側端にかかる滝で、溶岩の下にあった柔らかいローム層が川の流れて削られ、残った厚さ10mほどの溶岩が滝を形成しました。中では約8mもの溶岩樹型を見ることができます。春の桜と滝、富士山をバックにした絶好の撮影スポットです。



## ③ 三嶋大社

伊豆諸島の火山神を鎮める伊豆一宮として古くから崇敬されています。富士山の溶岩と泥流の石が玉垣などに使われています。



## ④ 白滝公園

溶岩流の末端から地下水が途切れることなく湧いています。かつては水量が多く、滝のようだったことから「白滝」の名前がつけました。



## ⑥ 境川・清住緑地、丸池

地域住民、NPO、行政などの協働により親水公園として整備されました。市街地にありながらこんこんと水が湧き出しており、カワセミ、トンボ、ミシマバイカモなど水辺の生態系が維持されています。



## ⑧ 割狐塚稲荷神社

溶岩流のなかにはときどき「溶岩塚」と呼ばれるお餅のような丘ができます。この塚の上にした神社で、数十もの赤い鳥居が連なっています。溶岩の割れ目から狐が飛び出したという逸話も。



### モデルコース

マップの中のコース

#### 「水の都」でジオ発見!

3km/徒歩で2時間30分  
三島駅南口→①楽寿園  
→②源兵衛川→③三嶋大社  
→④白滝公園→三島駅南口



#### 湧水の緑地散歩

3.1km/徒歩で1時間半  
⑤柿田川公園  
→⑥境川・清住緑地、丸山  
→⑦柿田川公園



三島駅からバスで15分、柿田川湧水公園前下車。

#### 溶岩の割れ目

500m/徒歩で1時間  
下土狩駅→⑦鮎壺の滝  
→⑧割狐塚稲荷→下土狩駅



### ガイドのオススメ



箱根西麓でとれた三島馬鈴薯(メークイン)で作られたみしまコロッケ。三島市内の認定店で購入できます。



「後藤精肉店」(長泉町下土狩1131)のごとうのコロッケと長泉あしたかつ。



伊豆産テングサと柿田川湧水を使った伊豆河童(清水町伏見184-3)のところでん、昭和のにおいのする店「富士見軒」(長泉町下土狩1241)のかつ丼もおすすです。

### 注意事項

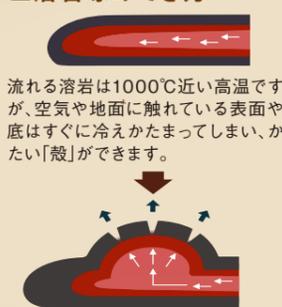
●歩きやすい服装、靴、タオル、飲み物持参で参加ください。

### 溶岩塚とは



割狐塚稲荷神社や、楽寿園や白滝公園をはじめとする三島駅周辺にはたくさんの「溶岩塚」があります。表面に亀裂がはいった高まりのことで、富士山から流れてきた溶岩流がつくった地形です。割狐塚稲荷神社はこの「溶岩塚」の上に建っており、岩の亀裂に沿ってたくさんの赤い鳥居が置かれています。

### 溶岩塚のでき方



流れる溶岩は1000℃近い高温ですが、空気や地面に触れている表面や底はすぐに冷えたかたまってしまい、かたい「殻」ができます。

しかし、内部の溶岩はどろどろに溶けたままです。あとから流れてきた溶岩が、「殻」を押し上げて、お餅のようにふくらんだドーム状の地形をつくる場合があります。

### 縄状溶岩とは



冷え固まった溶岩の表面が、溶岩の流れに引っ張られて「しわ」のような形を作ることもあります。たばねた縄のような形から「縄状溶岩」と呼ばれます。白滝公園では、こうした溶岩のすき間からの湧水があちこちにありま